



当社のECサービス「MIAU」

○本社所在地：大阪府茨木市蔵垣内1丁目
3番26号LOGI'Q南茨木306

○事業概要：自社独自開発のECアプリ
「MIAU MALL」による世界各国に向け
た日本產品の通信販売事業

○常時使用する従業員：49名
(2025年10月時点)

○現在の売上高：29億円
(2025年7月期)

○法人番号：1120001215427
○Web：<https://tohjo2018.com/>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ

代表取締役
劉 学昆

日本の価値を、世界へと発信する。

当社は2018年の設立以来、「日本の価値を、世界へと発信する。」を企業理念とし、日本の優れたメーカーのベ

ストパートナーとして商品を世界に広げる取り組みを行っています。
当社の主力事業であるECサービスでは、海外のお客様にMADE IN JAPANの高品質な商品をお届けすると共に、海
外市場に対し訴求力の高い商品を有する日本のメーカーを新たに発掘し、海外への製品輸出や販路拡大を支援して
います。当社はこれからも、日本のメーカー様に寄り添う企業として成長を目指します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2035年の売上100億円高達成に向け、年率12%程度の成長を目指します。

取り組み内容としては、既存事業のECサービスと並行し、新たに実店舗を出店します。出店場所としては、既存事業であるECサービスのリピーター顧客をターゲットとした海外店舗と、インバウンド顧客をターゲットとした国内店舗を予定しています。

課題

- ・実店舗の出店には多大なコストやリスクが伴うため、安定した売上の確保や効率的な店舗運営が課題となります。
- ・既存事業におけるEC販売に加え、実店舗における商品在庫も確保する必要があるため、仕入れの強化及び商品の安定供給のための保管体制の構築が課題となります。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・海外店舗出店の主なターゲットとなるのは、ECサービスのリピート顧客です。従来のECの出店サービス利用の場合、注文から到着まで数日かかりますが、海外店舗により、顧客は近隣の店舗で気に入っている商品をすぐに購入できるようになります。
- ・日本国内での実店舗の主なターゲットとなるのは、当社ECを利用したことがないインバウンド顧客です。顧客は日本を訪れた際に優れた商品を実際に見て購入し、帰国後のリピート購入の際の海外店舗利用やECサービスの利用につなげます。

実施体制

- ・十分な売上が見込める出店エリアの選定や効率的な運営体制の構築にあたり、専門機関からコンサルティングを受けます。
- ・より多くの優れた日本メーカーに仕入先になってもらうべく、当社のECプラットフォームを応用し、当社を代理店として海外進出できる体制を構築し、仕入れの強化を目指します。
- ・海外店舗を既存事業であるECサービスの在庫管理倉庫としても活用し、実店舗とEC事業双方の在庫の安定化を図ります。

売上高100億円実現の目標と課題

当社は2018年の設立以来、「日本の価値を、世界へと発信する。」を理念とし、日本の優れたメーカーのベストパートナーとして商品を世界に広げる取り組みを行っています。

中国やオーストラリア、アメリカといった海外各国の消費者の間では、「純日本産であること」に高い付加価値が見出されていることも含め、「日本産品」の人気が非常に高い一方で、日本のメーカーは海外市場に対し訴求力の高い商品を有しているながらも、「ヒト・モノ・カネ」リスクの大きさから独立での海外輸出展開に至らないケースが多くあります。そこで、当社の主力事業であるECプラットフォーム「MIAU」では、海外市場に対し訴求力の高い商品を有するメーカーに対し容易に海外輸出拡大を図れるビジネス環境を構築・提供し、海外のお客様にEC販売を通じてMADE IN JAPANの高品質な商品をお届けする取り組みを通じて、当社の理念である「日本の価値を、世界へと発信する。」を実現してきました。

当社のEC事業は海外のお客様と仕入れ先である日本のメーカー様双方に好評を頂いておりますが、売上高100億円という大きな目標の実現には新業態への進出が不可欠であると判断しました。そこで、海外顧客とインバウンド顧客が商品にアクセスしやすい環境を創出し、実際に日本の価値を見て触れて体感してもらうことにより、多くの日本産の優れた商品を発信することを目的とした実店舗の出店を計画しています。

